

アトピー性皮膚炎がなかなか治りません
非ステロイド性の外用薬が承認されました
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

アトピー性皮膚炎の症状



おきまっと思ったと思ったら、またかゆみのある湿疹が出る。を繰り返すアトピー性皮膚炎の症状と治療について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「どんな症状ですか？」
「アトピー性皮膚炎は、皮膚の乾燥、バリア機能の低下、皮膚への刺激やアレルギー反応によって、口まわり、耳まわり、首、わき、手足の関節の内側などに多く出ます」

「皮膚のバリア機能を補う治療（保湿）とステロイド抗炎症性外用薬や抗アレルギー剤を使用し、かゆみや炎症を抑える治療を行います。細胞内の免疫活性シグナル伝達に重要な役割を果たすJAKの働きを阻害し、免疫反応の過剰な活性化を抑制する非ステロイド性の外用JAK阻害剤『デルゴシチニブ軟膏』が、今年1月に承認・保険適用され、6月24日より処方が可能になりました。タクロリムス軟膏以来20年ぶりとなる、非ステロイド外用薬で、使用は成人のみに限られますが、治療の選択肢が広がりました。詳しくは、皮膚科の医師に相談してください」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ
Tel.042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2020年6月26日付 「リビング多摩」に掲載されました